

■ ■ 授業科目名	■ ■ 科目区分	
Communicative English III E (5)		
	■ ■ 時間割コード	
■ ■ 講義題目	041317	
Communicative English III	■ ■ 年度	■ ■ 時間割
	2012	前期 金5
■ ■ 担当教員 長井 克己[Nagai Katsumi]	■ ■ 単位数	■ ■ 教室
	1	
	■ ■ 対象年次及び学科	
		2～ 全学共通科目

## ■ ■ 関連授業科目

主題科目B-2で提供される講義

## ■ ■ 履修推奨科目

Communicative English V/VI

## ■ ■ 学習時間

授業90分×15回+授業外学習（予習・復習・発表準備）

## ■ ■ 授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、1年次の授業（Communicative English I / II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

## ■ ■ 授業の目的

この授業は受講生のスピーキング能力の育成に重点を置いています。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

## ■ ■ 到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. とにかく英語を1分間、話しつづけることができる。

## ■ ■ 成績評価の方法と基準

Apparent effort and co-operation : 20% Mid-term presentation : 20%  
Mid-term exam : 20% Term presentation : 20% Term exam : 20%

## ■ ■ 授業計画並びに授業及び学習の方法

## 【授業の方法】

(1) Reading & shadowing, (2) Q&A, (3) Listening lectures, (4) Preparation for presentation の順に演習を行う。

## 【授業計画】

第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。

第2回～第7回：1 Unit / week で演習を行う。  
第8回：中間試験と第1回プレゼンテーション  
第9回～第14回：1 Unit / week で演習を行う。  
第15回：期末試験と第2回プレゼンテーション

## 【自学自習に関するアドバイス】

- ・この授業は1単科目である。
- ・予習復習とプレゼンテーションの準備をしっかりやってください。

## ■ ■ 教科書・参考書等

Smith et al. (2012). Presentation Workshop. Tokyo: Kinseido.  
(ISBN978-4-7647-3929-1)

## ■ ■ オフィスアワー

授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

## ■ ■ 履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第1回目の授業に出席してください。欠席回数4回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻を3回すると欠席1回となります。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

## ■ ■ 参照ホームページ

## ■ ■ メールアドレス